

令和7年度 中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告

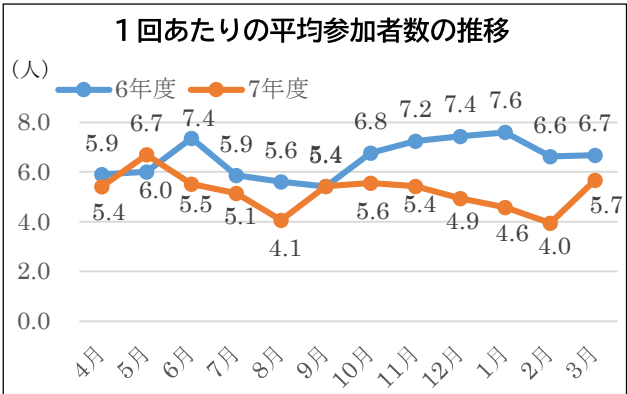
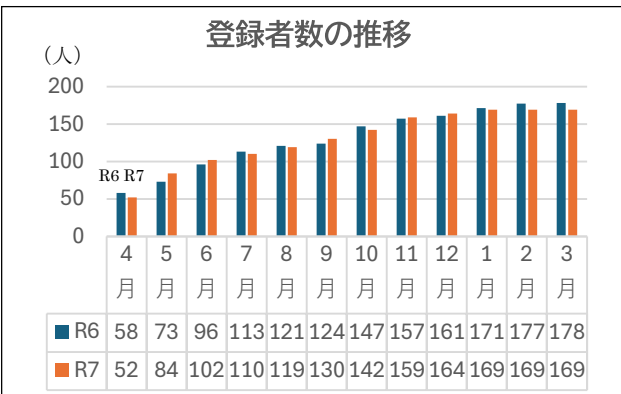
中学生及び高校生（相当年齢の者を含む）を対象に、大学生等のボランティアによる学習支援と相互交流をとおして、学習機会の提供と社会性や自己肯定感を育む場となる中高生の居場所づくりを目的とする中高生勉強会「学びiプレイス」を実施したので、その結果について報告する。

1 実施期間

令和7年4月8日から令和8年3月7日まで。

2 日時・会場・実施回数・参加状況

会 場	曜日	時 間	回数	登録者数	延参加者数	前年度 延参加者数
まなぼーと大原	火	18：00～20：00	40回	28人	201人	330人
高島平図書館	水	17：00～19：00	40回	37人	256人	323人
教育支援センター		18：00～20：00	40回	20人	189人	162人
中央図書館	木	17：00～19：00	40回	45人	228人	272人
まなぼーと成増	金	18：00～20：00	40回	16人	191人	259人
グリーンカレッジホール	土	14：00～16：00	24回	23人	97人	119人
計			224回	169人	1,162人	1,465人



3 学年別参加状況（各会場における学年別延参加者数）

会 場	中 学 生 (64%)			高 校 生 (36%)				計
	7年 (26.5%)	8年 (17.4%)	9年 (19.7%)	1年 (21.5%)	2年 (8.6%)	3年 (6.3%)	相当者 (0%)	
まなぼーと大原	44人	13人	6人	137人	0人	1人	0人	201人
高島平図書館	62人	39人	100人	34人	2人	19人	0人	256人
教育支援センター	70人	28人	52人	5人	0人	34人	0人	189人
中央図書館	95人	42人	19人	50人	10人	12人	0人	228人
まなぼーと成増	18人	57人	6人	19人	88人	3人	0人	191人
グリーンカレッジホール	19人	23人	46人	5人	0人	4人	0人	97人
学年別計	308人	202人	229人	250人	100人	73人	0人	1,162人
中高別計	739人			423人				

4 委託事業者

特定非営利活動法人 キッズドア

5 委託料

13,660,240円

6 実施状況及び内容

令和7年度は、6会場で計224回（平日は5会場で各40回、土曜日は1会場で24回）開催した。

各実施会場では、継続的な事業実施により、中学生・高校生に学習機会と居場所の提供を行い、それに加えてキャリア支援の強化に努めた。

令和7年度の参加状況は、登録者数、延参加者数ともに令和6年度との比較では減少した。令和6年度は9年生が多く登録し、参加頻度も高かったが、令和7年度には高校進学後、登録をしても参加頻度が減少する傾向がみられ、会場によっては、延べ参加者数が大きく減少した一因と考えられる。

全体の参加者のうち、中学生が64%、高校生が36%であり、令和6年度との比較では、中学生・高校生の参加割合においては、高校生の割合が2割近く高くなった。

学年別では、7年生の参加割合が高く、中学校に進学して、事業に初めて登録し、比較的継続して参加する様子がみられた。

（1）学習支援

参加者が持参する教材を使い、個々の状況に応じて学習をサポートする寄り添い型の支援を行った。普段は、学校の宿題・課題に取り組む生徒が多く、定期試験の前には、試験に向けた学習に集中する様子が多くみられた。

また、日頃の学習支援に加え、個々の希望に応じて、英語検定に対応した学習や受験に向けた対策、高校の転学希望者へのサポートなどにも可能な限り対応した。

その一部は、以下の事例のとおり。

事例；都立高校への編入試験対策（高校1年生）

4月に私立高校に入学した1年生から進学して間もなく、高校卒業後の進路や都立高校への転学について支援者に相談があった。その後、編入を志望する高校の選択や編入試験に向けて、過去の入試問題を使った学習や面接対策などを支援者がサポートした。8月に編入試験に合格し、9月から志望した都立高校に編入することができた。

【当事者の声（アンケートより）】

転学の相談を親切に聞いてくださりありがとうございました。あの時相談をしたお陰で自分の進路や将来について考えるきっかけになりました。結果的に都立に転学することが出来ました。感謝しても仕切れません。

（2）居場所の提供

本事業では、中高生と年齢の近い大学生等のボランティアや事業者スタッフが支援者となり、参加者にとっては、話しやすい雰囲気や関係性が醸成され、ボランティアやスタッフとの会話を楽しみに継続参加する様子もみられた。

信頼関係が築かれる中、学習面では、勉強の仕方や、進路に関しての相談を受けることが多く、支援者が話を聴いたうえで、一緒に考えながら、提案や情報提供を行うなどの対応に努めた。

参加者の中には、ボランティアやスタッフに自身の悩みを聞いてもらうことや話し相手を求め、居場所として本事業を利用している様子もみられる。

学校生活や家庭環境などに起因して、困りごとやストレスを抱えている中高生もあり、こうした参加者の話も聴き取り、直接的な対応が難しい場合にも、いつでも話ができる場として、参加者に寄り添うよう支援に努めた。

また、参加者と支援者、参加者同士の交流をとおして、心地よい居場所となるよう、交流機会として適時イベントを実施した。それらの一部は、以下の事例1、2のとおり。

①事例1；相談をとおした居場所の提供

7年生の時から継続参加している高校3年生が進路に悩み、就職か進学かを決められずに迷っていた。自身の気持ちを家庭や学校では話すことができず、本事業の支援者に話し相手を求め、複数の会場に参加して、頻繁に相談する様子がみられた。主に、年配の支援者が話し相手になり、本人の話を聴いて、アドバイスや考えを整理することをサポートした。最終的には、本人が強く興味を持つ鉄道関係の科目を学ぶことができる短期大学への進学が決まり、事業の最終日には、後輩たちにメッセージを伝えて、本事業からも卒業していった。

②事例2；ゲームイベントの実施

交流のツールとして、だれもが参加しやすいボードゲームなどを活用したイベントを実施した。

例年参加者が楽しみにしているイベントの1つで、新規参加者やボランティアが早く馴染めるよう5月に各会場で実施したほか、8月、12月、3月の最終回にもボードゲームやカードゲームを楽しんだ。



日頃話す機会が少ない参加者同士でも自然なかたちで会話が増え、交流の機会となった。

(3) キャリア支援

令和7年度も、昨年度に引き続きキャリア支援に力を入れ、参加者が自身の将来のことや進路を考えるきっかけとなる取り組みを積極的に行った。

6月、8月、10月、12月には、「まなプレインタビュー」を発行・配布した。身近なロールモデルである現役大学生を中心とする支援者の進路選択の経験や中高生時代の勉強への取り組み、大学で専門としている分野のほか、なかには不登校だった経験など中高生時代の思いなども交え、インタビュー形式の文面で読みやすく作成し、今後の進路を考える一助とした。

また、7月と2月には、各会場で、ボランティアの支援者による「ボランティアトーク」を実施した。経験豊かな社会人の方からは、仕事での20年近い海外生活の経験や現在の世界を取り巻く環境などについて、質問なども交えて参加者が自ら考えるよう促し、関心が深まるよう配慮されていた。

これらに加え、大学や企業の協力を得て、見学や体験をとおして学ぶキャリアイベン

トを実施した。その様子は、事例1、2のとおり。

① 事例1；大正大学見学ツアー（7月）

夏休みに大正大学を訪問した。同大学に通う本事業の大学生スタッフがコーディネートし、学科の紹介や施設見学のほか、学内の食堂でグループに分かれて昼食を取りながら大学生と交流し、大学での具体的な学びや活動について話を聴くなど、大学生活への理解を深めていた。日頃、交流のない参加者同士のよい交流機会ともなった。

昼食後は、2つのグループに分かれ、それぞれ心理学のワークショップに参加した。

前半は、どちらのグループともに、目の錯覚を利用した「錯視」の話を聞き、実験を交えて実際の授業に参加しているような体験をした。

その後、1つのグループは「TA（交流分析）」の話を聞いて、それぞれの存在を認めようという考えに基づき、互いに相手を褒めることや、ポジティブな言葉を使って心に栄養を与える「ストローク」の体験を行った。

もう一方のグループでは、話を聞くコツとして、相手の話に共感をもって深く聴くコミュニケーション技術について学んだ。

参加者は、こうした体験をとおして、心理学への興味を深めるとともに、大学で学ぶことに関心をもった様子もみられ、進路を考える機会となった。



昼食時の様子



「心理学」体験学習の様子

② 事例2；アクセントオフィスツアー（11月）

令和6年度に続き、本事業の委託事業者をつうじて、アクセント株式会社（総合コンサルティング企業）に招かれ、「アクセントオフィスツアー」を実施した。

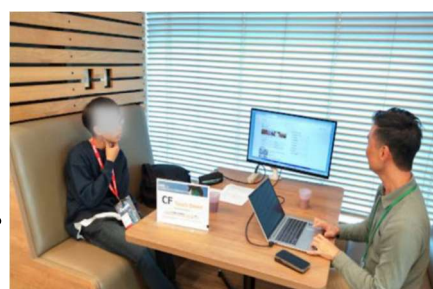
参加者一人ひとりにアクセント社員の方が付いてくださり、昼食をともにしながら、趣味や好きなこと、学校生活の話題などで緊張をほぐしながら信頼関係ができるよう配慮していただいた。

昼食後は、会社説明や小グループでのオフィスツアーを行い、その後に昼食時のペアでの個別相談（キャリアワークショップ）を行い、個々のニーズにあった相談をし、将来に対する提案やアドバイスを受けることができた。

個別相談後は、小グループに分かれて、参加者全員が感想や学びを共有した。

【参加者の感想（抜粋）】

- ・社員さんがとても親身になって話を聞いてくれてありがたかったです。
- ・とてもわかりやすく楽しく伝えてくれ、自分のいろんな夢を考えるきっかけになりました。



キャリアワークショップの様子

7 参加者に対するアンケート結果

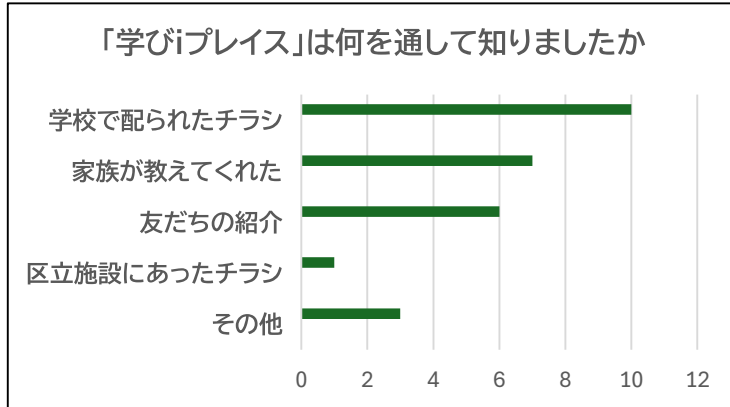
(1) 実施期間・実施方法・回答者数

令和8年2月10日から3月9日までの期間に LoGo フォームにより参加者アンケートを実施した。回答者数27名。

(2) 回答結果

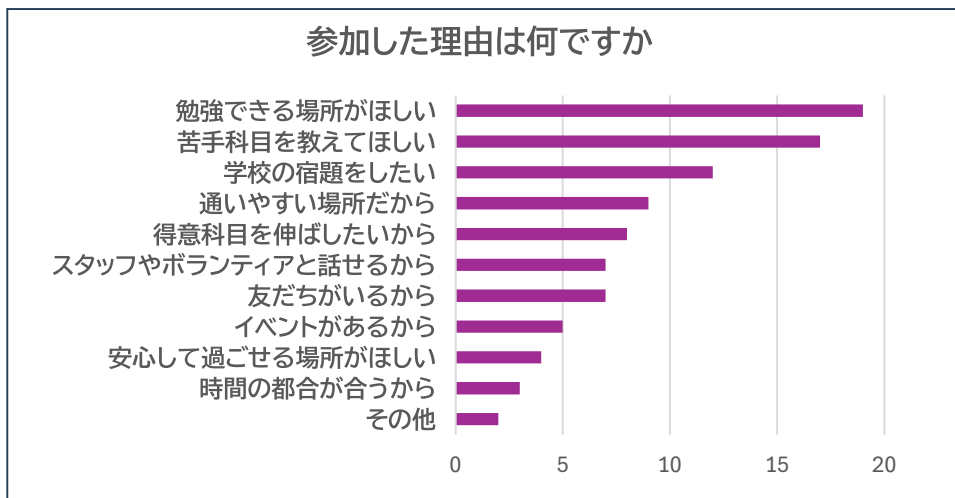
①本事業を知ったきっかけ

(件)

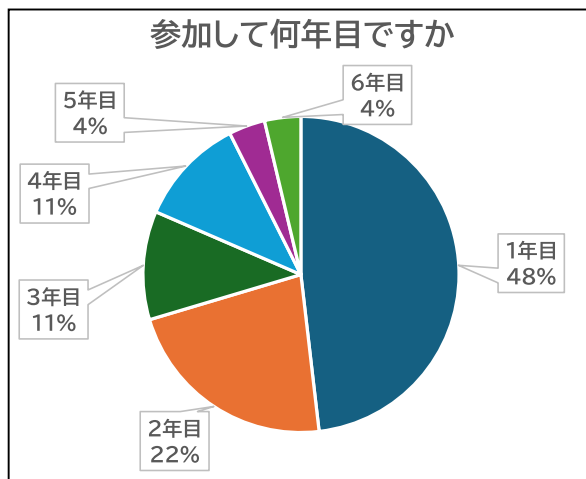


②参加動機

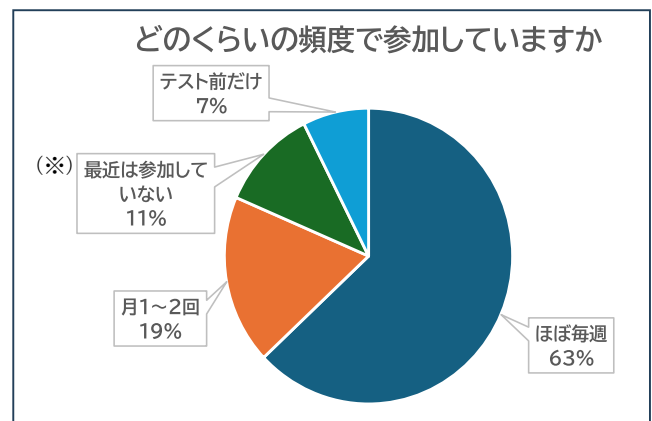
※複数回答あり (件)



③ 本事業への参加歴

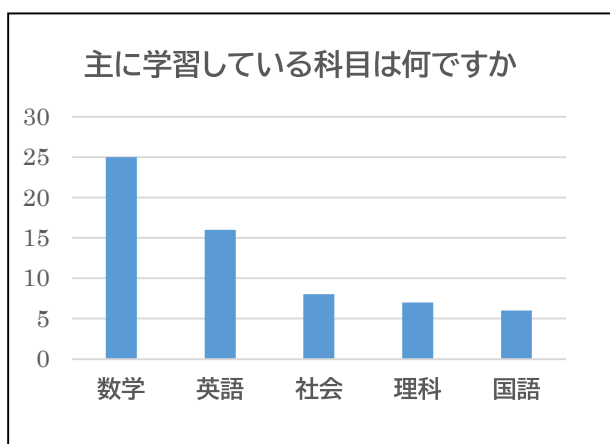


④参加の頻度

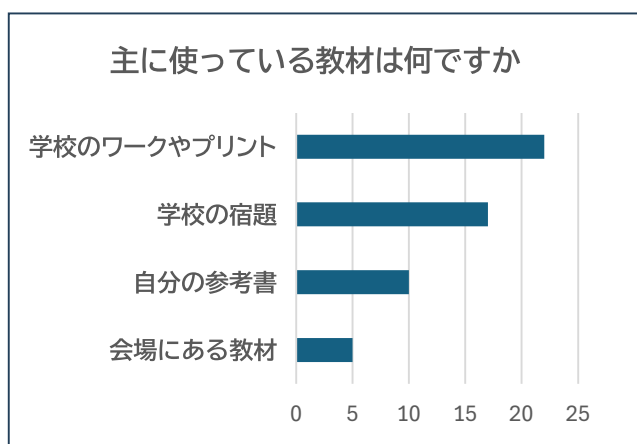


(※) 参加していない理由は、「学校や部活動、他の予定で忙しくなった」「塾など別の学習時間が増えた」であった。

⑤主に学習している科目 ※複数回答あり（件）

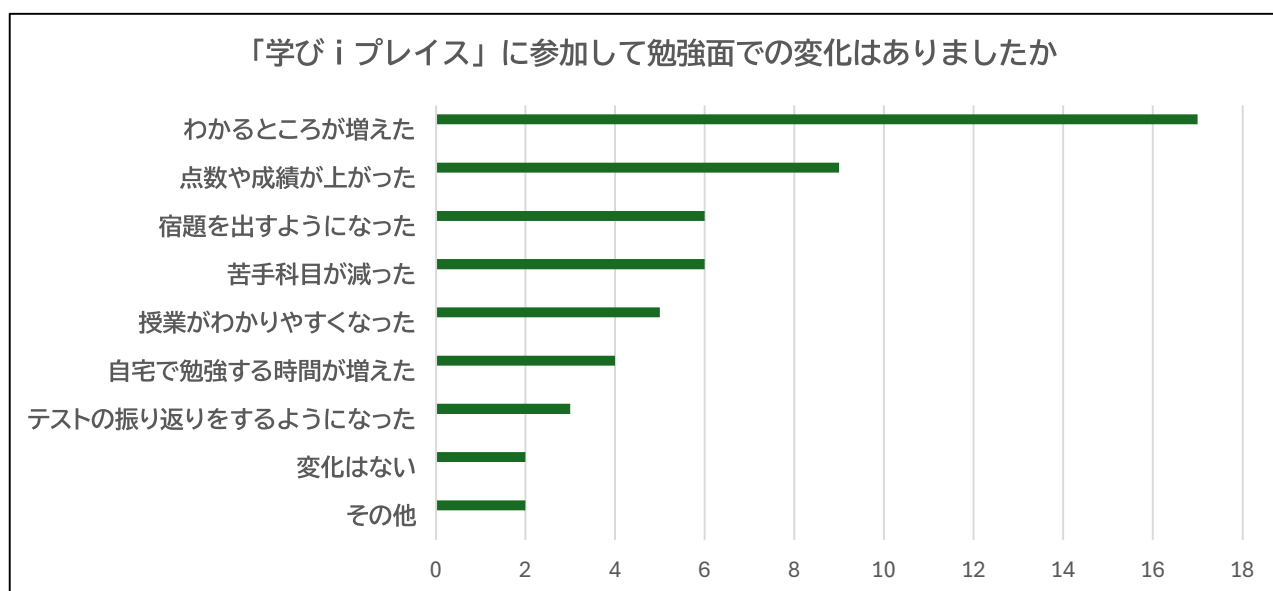


⑥主に学習している教材 ※複数回答あり（件）



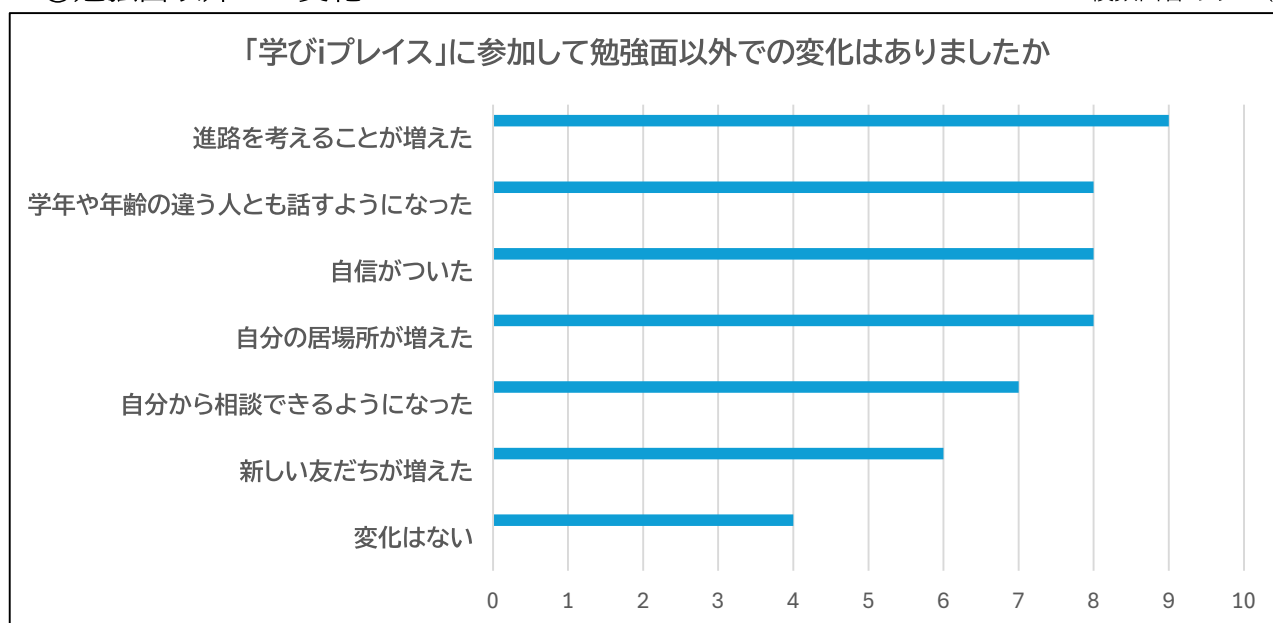
⑦勉強面での変化

※複数回答あり（件）

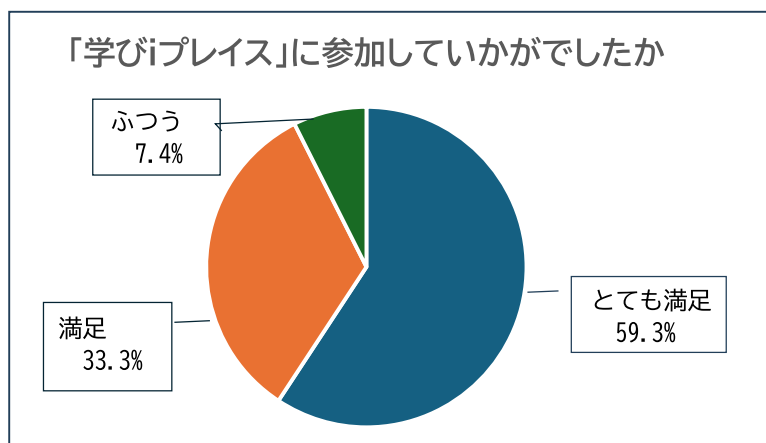


⑧勉強面以外での変化

※複数回答あり（件）

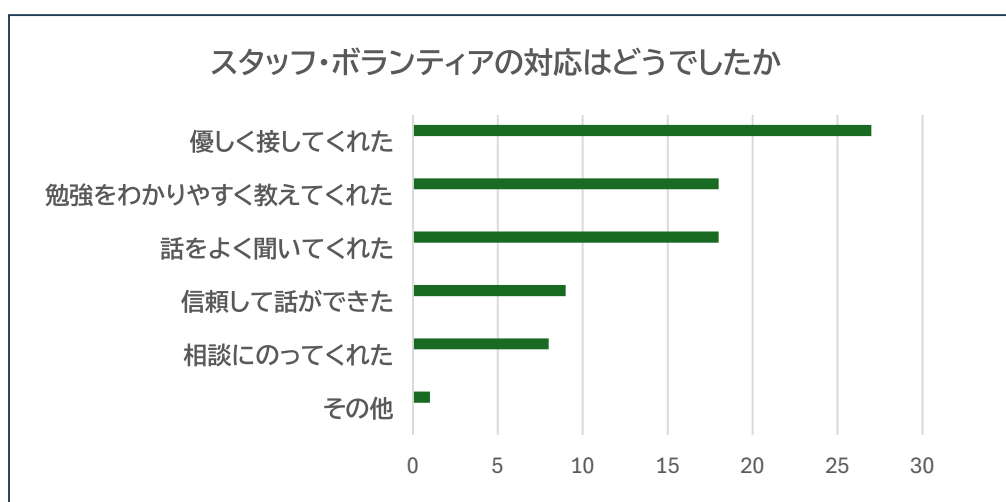


⑨本事業への評価（満足度）



⑩支援者（スタッフ・ボランティア）について

※複数回答あり（件）



⑪自由意見（一部抜粋）

【スタッフ・ボランティアへのメッセージ】

- 今年で卒業ですが6年間ありがとうございました。
- いつもありがとうございます。友だち知り合いがいなくて行きづらい。テストの点を伝えると、ひとりですでると思われ声をかけてもらいづらく、自分から聞きづらい。
- 面倒臭がりな勉強嫌いな息子が毎週気持ちを切り替えて通えているのもスタッフさん、ボランティアさんのおかげです。これからもよろしくお願いいたします。（保護者）
- いつもわかりやすい説明やサポートをしていただきありがとうございます！これからも利用させていただきます。
- いつも丁寧にわかりやすく教えてくださりありがとうございます！
- いつも私の他愛もない話を聞いてくださりありがとうございます！勉強もわからないところなど、教えていただけてたいへん助かっています。
- 出会いや別れがある中、たくさん勉強のことについて話すことができるので楽しい。
- みんな大好き、ありがとう。

【事業に対する意見や感想】

- ボランティアの人の進学先や体験談を知れる良い機会になった。自分の進路を考えるき

っかけになった。

○まなプレに通ってから楽しく勉強できるようになりました。ありがとうございます。

○生徒（参加者）にもっと来てほしいと思った。

○本当にわかりやすく説明してくれてありがたいです。勉強が自然にできるようになったり英語が苦手だったのですが克服しつつあります。感謝しかないです。これからも利用させていただきます。

○いつも落ち着けるような、でも少し賑やかなような環境を作ってください、ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

○雪や台風の時など、開催するのか迷うので、朝に中止、開催予定など、LINEで流してもらえると助かります。食料支援などあれば、LINEにも流してもらえると助かります。

塾に通う余裕がないので、面接や小論文など、受験対策をしてもらえると助かります。今後もよろしくお願いします！

○ぜひこれからも利用したい。